

動物を衛（まも）る ヒトを衛（まも）る

生物学、動物衛生、獣医学

独立行政法人

農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所

会期：2010年7月28日（水）13：10～7月30日（金）14：30 2泊3日

私たち人間は、動物と深い関係を保ちながら生きています。牛乳、肉類等の畜産物は、私たちが健康で丈夫な身体をつくるのに必要な動物性タンパク質です。安全で良質な畜産物は、健康な家畜から生産されます。動物は、私たちの生活の中で大きな役割を担っているのです。

また、動物は、生命科学の進展に寄与し、人間の心を潤す絆にもなっています。しかし、これらの動物は人間同様、様々な病気にかかりますので、動物の健康を守ることが大切です。

動物衛生研究所でのサイエンスキャンプは、「命あるものを衛（まも）る」研究機関として、動物疾病の予防と診断、治療に関し、基礎から開発・応用までの幅広い研究についての講義と実習を受けることができます。



会場

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
動物衛生研究所
茨城県つくば市観音台3-1-5
(JR常磐線「牛久駅」下車、バス約20分。または、
つくばエクスプレス線「みどり野駅」下車、
バス約15分)
URL：http://niah.naro.affrc.go.jp/index-j.html
宿泊場所：農林水産省 農林水産技術会議事務局
筑波事務所 国内研修生宿泊施設

募集人数

8名

キャンプのプログラム内容（予定）

(1) マウスの体の観察と遺伝子解析技術の基礎
哺乳動物の体の構造やその機能を知り、理解するとともに、性別・系統の異なるマウスの遺伝子を材料にした実験を通じて、遺伝子操作の基礎を学習します。

(2) 家畜の臨床検査、生化学検査
実際に牛を用いて、その健康状態を知るうえで必要な臨床検査の基本的手法（聴診、体温測定、血液検査、生殖器検査、第一胃液の検査など）を実習します。

(3) プリオン病についてのセミナー
動物衛生高度施設にて、プリオン病研究の概要説明を行う。また、モニターを通して、BSL3施設内部を見ます。

スケジュール（予定）

1日目 7月28日（水）

13:10 集合受付
13:30～14:00 開講式／オリエンテーション
14:00～17:00 マウスの体の観察と遺伝子解析技術の基礎
17:30～19:00 講師等との交流会

2日目 7月29日（木）

9:00～12:00 家畜の臨床検査、生化学検査
12:00～13:00 昼食
13:00～17:00 家畜の臨床検査、生化学検査

3日目 7月30日（金）

9:00～11:00 初日講義・実習の結果解析および解説施設見学等（DNAシーケンサー等）
11:15～11:45 プリオン病についてのセミナー
12:00～13:00 昼食
13:00～14:00 キャンプ全体のまとめ、ディスカッション
14:00～14:30 閉講式

1、2日目の夜は宿舎でミーティングを行います。

プログラムの関連図書、Webサイト紹介

動物衛生研究所HP
URL：http://niah.naro.affrc.go.jp/index-j.html